

# 6月1日～7日は水道週間です

## 第59回水道週間スローガン

# あたりまえ そんなみずこそ たからもの

私たちの生活に欠かせない「水」。普段、当たり前のように使っていますが、近年、地震や豪雨による自然災害が増えています。大規模な災害によって、水道施設が被害を受けると、この大切な水が使えなくなってしまいます。水道局では、災害に強い水道にするために水道管の改良工事などを行っています。各家庭でも、もしものときに備えて水の確保をしておくことが必要です。今一度、水の重要性を考え、大切に使うよう心がけましょう。

### 災害に備えて家庭でできること

災害発生から行政などによる救援体制が整うまでには、およそ3日間を要すると言われています。それまでは、各家庭で備蓄している飲料水や食料で生命を維持しなければなりません。災害に備え、飲料水を確保しましょう。

私たちの生命を維持するためには、1人1日3リットルの飲料水が必要です。例えば、4人家族であれば、3日分の飲み水として36リットル、つまり2リットルのペットボトルにすると18本必要ということになります。

水道水を保存する場合は、消毒のための塩素が消失しにくい状態で行うことが大切です。清潔でふたのできる容器の口元いっぱいまで水道水を入れ、しっかりとふたをしましょう。途中でふたを開けた場合は、その都度新しい水と入れ替えてください。残留塩素がなくなると細菌などが発生しやすくなります。日のあたらぬ涼しいところでは3日から1週間、冷蔵庫の中では1～2週間を目安に水を入れ替えてください。

### 悪質業者にご注意！

漏水調査やメーター交換の担当者は、水道課発行の身分証明書（写真入）を携帯しています。また、作業をしてその場で料金を請求することはありません。不審に思われた場合は、身分証明書を確認するか、水道局までお問い合わせください。

### 災害に強い水道のために

水道局では、災害が発生しても安定的に水道水を供給できるように、老朽管の更新にあわせ、耐震化工事を行っています。水道管は、地震の揺れで強い力がかかるとヒビ割れや、管と管の継ぎ目が抜けてしまうことがあります。耐震化水道管は、ヒビが入らないような強い材料で造ることはもちろん、地震に耐えられるように、地面の揺れに合わせて伸び縮みできるようになっています。



### メーターを確認しましょう

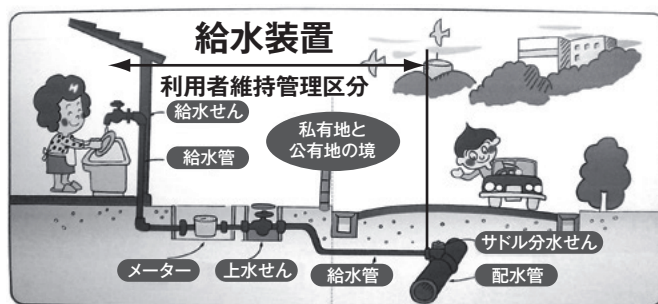
家庭で漏水を見つけることができます。蛇口を全部閉めてもメーターのパイロット（コマ）が動いていれば漏水の可能性があります。早急に修繕しましょう。



## 家庭の水道水のしくみ[配水管から家庭まで(給水装置)]

### 給水装置はあなたの財産です

ご家庭にある給水装置および敷地内の水道管は、家の所有者の財産です。また、集合住宅やビルにおいても設備所有者（家主など）の財産です。修繕や取り替えに要する費用は、所有者の負担となりますので、日ごろから維持管理を十分心掛けてください。



支払いは、簡単便利な口座振替を利用してください。